

# 事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		06-04-01		戦略プラン		<input type="radio"/> 協働 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事		
事務事業名		観光情報提供事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	石崎	
				担当者名	本宮	内線	461	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-01-01		観光情報提供事業				
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業                 （ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度                 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		14年度		根拠		
終期設定		<input checked="" type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度		法令等		
実施基準		<input checked="" type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分		<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系		分野	Ⅲ	産業革新都市				
		政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
		施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信				
目的	荒川区の観光情報を区内外に広く提供することによって、区のイメージアップを図るとともに区への来訪者を増やし、地域経済の活性化を図る。							
対象者等	区外の人々及び区への来訪者							
内容	①イベントカレンダー作成(14年度～)、H22、23英語版、②HPに区内行事のインターネット動画配信(14年度～)、③HPに都電荒川線花見どころサイトの開設(14年度～26年度)⇒27年度より区HPへ統合④まちあるきマップ作成(17年度 日暮里・南千住、18年度 都電荒川線沿線、19年度 日暮里・南千住改訂、20年度 都電荒川線沿線に舎人ライナーを含め改訂、21年度 日暮里・南千住改訂、日暮里・谷中作成、22年度 都電舎人ライナー沿線、24年度 南千住改訂、27年度 日暮里改訂・千住散策マップ改訂・日暮里・谷中増刷改訂、28年度 全マップ増刷、29年度 都電荒川線沿線改訂、日暮里・南千住、日暮里・谷中増刷)、⑤観光PR協力所設置91か所(H30.6.1現在)、⑥都電荒川線散策マップ(19年度)、⑦行政観光パンフレット作成(20年度作成、23年度改訂)、⑧観光スポット特集冊子の作成(20年度)、⑨京成日暮里駅構内PRコーナー運営(24年度～ 掲示板2か所、ラック 1台)、⑩イメージポスター作成(24年度)、⑪ツイッター開始(24年度)、⑫日暮里駅前イベント広場電光掲示板情報更新(25年度～)⑬南千住駅構内PRコーナー運営(26年度～机1台、パーテーション1台)							
経過	○平成22年度から観光ボランティアガイド事業を受入体制整備事業へ移管した。 ○区内行事のインターネット動画配信 18年度から9件(都電荒川線のバラ、素盞雄神社天王祭、諏訪神社御神幸祭、胡録神社例大祭、尾久八幡神社例大祭、仲町通り阿波踊り大会、元三島神社神幸祭、熊野前サンバカーニバル)を常時配信していたが、21年度に主要5イベントに一本化(ダイジェスト版を作成)した。 ○都電荒川線花見どころサイトは、産業HPで運営していたが、産業HPの廃止に伴い、27年度に区HPへ統合した。 ○Twitterは28年4月1日を以て広報課アカウントと統合した。							
必要性	多様な情報発信により区のイメージアップ及び来訪者の増加が期待できる。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	観光PR協力所の設置件数(延べ件数)	91	94	91	91	113	
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
推進		推進		区のイメージアップ及び区外からの誘客を図るため、区内外に向けた、様々な情報発信を工夫して促進していく。				

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		2,226	1,237	1,338	3,446	3,534	3,610	5,311
決算額(30年度は見込み)		1,485	862	731	3,348	3,227	3,030	5,311
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	イベントカレンダー	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	まちあるきマップ(区単独)	118,000	—	100,000	112,000	37,000	75,000	110,000
	まちあるきマップ(他区連携)	—	67,000	—	60,000	262,000	—	—
	観光PR協力所設置件数(延べ)	74	79	85	91	94	91	91
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	観光PRチラシ作成費ほか	2,900	需用費	観光PRチラシ作成費ほか	2,602	需用費	観光PRチラシ作成費ほか	1,826
委託料	まちあるきマップ作成費ほか	327	委託料	まちあるきマップ作成費ほか	428	委託料	まちあるきマップ作成費ほか	3,439
						使用料及び賃借料	イラストレーターライセンス利用料	46

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		5,788	5,045	▲743		地方税		0	0	0
物件費		3,227	3,030	▲197	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		308	278	▲30	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲9,323	▲8,353	970		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		9,323	8,353	▲970	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲9,323	▲8,353	970		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲9,323	▲8,353	970		

備考 行政費用では、給与関係費を除くと、物件費が主なものであり、主な内訳としては、都電荒川線沿線まちあるきマップの改訂に1,952,262円、各種まちあるきマップの増刷に649,692円かかっている。

問題点・課題  
 ①区への来訪者を増やすためには区外への情報発信が不可欠となるが、そのためには、新たなツールを積極的に開拓していく必要がある。  
 ②オリンピック・パラリンピック開催に伴い、今後増加が予想される外国人観光客に向けた情報発信手段を積極的に確保していく必要がある。  
 ③区外へのイベント等の情報発信を強化するため、ポスター等の掲示が可能な協力先(区外の駅や施設等)の開拓の必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区外への情報発信を充実させるため、引き続き区外向けの情報発信手段について検討する。	他自治体との交流イベントにおいてちらしやパンフレットを配布するなど区外への情報発信を行った。	区外向けの効果的な情報発信手段について引き続き検討する。
②	区内駅の観光PRコーナーの掲示スペースを有効活用し、様々な区の観光情報やイベント情報を積極的に発信していく。	区内駅の観光PRコーナーの掲示スペースの内容を定期的に更新し、積極的に情報発信した。	区内駅の観光PRコーナー掲示スペースの更なる有効活用を図るとともに、掲示方法についても改善していく。
③	観光案内所等を拠点として活用し、外国人をはじめとした旅行者に対して、きめ細かな情報発信を行っていく。	パンフレット等の制作において外国語版の充実を図った。	観光案内所における外国人をはじめとした旅行者に対する親切できめ細やかな情報発信の方法を検討する。

他区の実況	(実施 22 区)	未実施 0 区	不明 0 区)
議会議決(要旨)	平成24年1定 日暮里駅周辺において、地元と協力して情報発信を進めるべき。 平成28年度決特 海外の有名なブロガーを活用した情報発信を行ってはどうか。		

# 事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	06-04-02		戦略プラン	●協働 ○業務 ○財務 ○人事					
事務事業名	荒川区観光大使PR事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	石崎			
			担当者名	本宮	内線	461			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-02	荒川区観光大使PR事業							
事務事業の種類	○新規事業（○30年度 ○29年度）		○建設事業 ●それ以外の継続事業						
開始年度	○昭和 ●平成	18年度	根拠	荒川区観光大使設置要綱					
終期設定	○有 ●無	年度	法令等						
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画					
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市						
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成						
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信						
目的	「荒川区観光大使」によるPR活動により区のイメージアップを図る。								
対象者等	荒川区在住又は出身者で、区に愛着を持ち、区の魅力を積極的に紹介していただける著名人、区民、区外の人々及び来訪者								
内容	（観光大使） 城戸真亜子（洋画家）、三遊亭好楽（落語家）、井崎脩五郎（競馬評論家・タレント）、片岡鶴太郎（俳優・画家）の4名 ①区の最新情報（旬な話題、観光イベント情報、観光パンフ等）を随時提供。 ②観光大使用PR物品を作成し、それぞれの立場において機会のあるごとに荒川区をPRしてもらう（名刺、都電荒川線ポストカード等） ③区長と観光大使との対談を実施し、対談内容をケーブルテレビやホームページ等で情報発信する。								
経過	平成19年度 観光大使が区の魅力を紹介する「私の大好きなまち」作成（23年度改定） 平成21年度 区長との意見交換会を実施（城戸氏、好楽氏、井崎氏が出席） 平成22年度 区長との意見交換会を実施（好楽氏、井崎氏が出席） 平成28年度 観光大使名刺提示による特典の拡大（区施設（あらかわ遊園、荒川ふるさと文化館）の利用料無償化）								
必要性	著名人の協力による幅広い人脈やネットワークを活かし、区の知名度及びイメージの向上を効果的に図ることができる。								
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員）								
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明		
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)	
	①	区長との対談（回）		0	0	0	1	1	
	②								
③									
事務事業の分類		分類についての説明・意見等							
30年度		31年度							
継続		継続		観光大使のPR力を活用し、引き続き区の魅力を発信していく。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		638	236	192	166	126	136	158
決算額(30年度は見込み)		353	10	91	47	43	74	158
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
観光大使任命(人)		0	0	0	0	0	0	0
区長との対談(回)		0	0	0	0	0	0	1
PR活動(名刺等作成)(枚)		2,500	—	2,000	2,000	2,000	—	2000
あらかわの魅力伝え隊		0	0	0	0	0	0	0
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	大使PR物品購入費ほか	43	需用費	大使PR物品購入費ほか	74	需用費	大使PR物品購入費ほか	140
						需用費	会食会場使用料	18

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	1,447	1,514	67	地方税	0	0	0
	物件費	43	74	31	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	77	83	6	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲1,567	▲1,671	▲104
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	1,567	1,671	104	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲1,567	▲1,671	▲104
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲1,567	▲1,671	▲104	

備考 行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、主な内訳としては、PR用の切り絵ポストカードの購入に73,872円かかっている。

問題点・課題 観光大使に荒川区の魅力をPRしてもらうため、区の最新動向などを定期的にかつ、きめ細かく情報提供していく必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き観光大使へ区の観光情報等を定期的に提供していく。	定期報告により、荒川区の現状やイベント情報を提供した。	定期報告については、観光大使に関心を持ってもらえるような話題を工夫しながら提供していく。
②			
③			

他区の実況 (実施 8 区 未実施 14 区 不明 0 区)  
 中央区(ミス中央)3人、台東区(たいとう観光大使)22人、豊島区(ソメイヨシノ桜の観光大使)3人、大田区(大田区観光PR特使)16人、渋谷区(スポーツアンバサダー、ナイトアンバサダー等)18人、北区(北区アンバサダー)5人、墨田区(すみだ親善大使)3人、葛飾区(かつしか観光大使)2人

況議(会要質問) 平成27年度予特 著名人ではなく、一般の方による区の魅力発信を行ってはどうか。  
 平成27年度予特 観光大使の増員について  
 平成29年度予特 一般公募の大使等、他自治体の実状も含めて研究してみてもどうか。

# 事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		06-04-05		戦略プラン		●協働 ○業務 ○財務 ○人事	
事務事業名		観光振興懇談会運営費		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	石崎
				担当者名	大和田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-04-01	観光振興懇談会運営費				
事務事業の種類		○新規事業（○30年度 ○29年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	18年度		根拠	荒川区観光振興懇談会設置要綱		
終期設定	○有 ●無	年度		法令等			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信				
目的	観光に関する様々な分野の有識者で構成する懇談会を開催し、区の観光振興の目指すべき方向とその実現のために必要な具体的施策等について検討を行う。懇談会の提言に基づき、区の観光振興施策の効果的な推進を図る。						
対象者等	学識経験者、観光関係団体、観光・交通事業者、産業団体関係者等						
内容	<p>【平成30年度（予定）】実施事業の報告、区内観光関連事業者等からのヒアリング</p> <p>【平成29年度】実施事業の報告、今後の荒川区の観光施策（太田道灌）</p> <p>【平成28年度】実施事業の報告、今後の観光施策の課題</p> <p>【平成27年度】区内の観光及び観光資源の現状、前回報告書提言内容の実施状況 観光振興施策の今後の方向性及び具体的施策 ※2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えてさらなる誘客を図るため、新たな観光振興懇談会報告書を作成。</p> <p>【平成19～22年度】18年度の調査報告書、懇談会提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証</p>						
経過	<p>【平成18年度】様々な分野の有識者で構成する観光振興懇談会を5回開催し、観光振興の目指すべき方向性と具体的施策について検討し、提言を報告書としてまとめた。</p> <p>【平成19年度から平成22年度】18年度の調査報告書、懇談会報告書の提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証（19年2回、20年3回、21年1回、22年1回）</p> <p>【平成24年度】観光事業コンサルタントによる講演会、質疑応答、意見交換である研究会を1回実施</p> <p>※平成23年度、25年度、26年度は未実施</p> <p>【平成27年度】荒川区観光振興懇談会を3回行い、座長から区長へ報告書手交実施</p> <p>【平成28年度】荒川区観光振興懇談会を1回実施</p> <p>【平成29年度】荒川区観光振興懇談会を2回実施</p> <p>【平成30年度】荒川区観光振興懇談会を2回実施予定</p>						
必要性	専門家からの提言・助言を活かすことで、より効果的に区の観光振興施策を推進していくことが期待出来る。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員）						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み	
	①	懇談会の開催(回)	3	1	2	2	2
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度		31年度					
継続		継続		有識者や関係団体の意見をより実践的・具体的に施策に反映していくため、懇談会等の提言を今後の計画づくりに活用する。			

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		324	189	149	743	318	300	248
決算額 (30年度は見込み)		23	0	0	373	63	128	248
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名 (30年度は見込み)								
観光基礎調査		—	—	—	—	—	—	—
懇談会(回)		—	—	—	3	1	2	2
懇談会専門部会(回)		1	—	—	—	—	—	—
研究会(回)		1	—	—	—	—	—	—
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	懇談会委員謝礼等	44	報償費	懇談会委員謝礼等	115	報償費	懇談会委員謝礼等	205
需用費	懇談会贈いほか	19	需用費	懇談会贈い等	13	需用費	懇談会贈い等	43

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		2,412	2,523	111		地方税		0	0	0
物件費		19	13	▲6	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		44	114	70	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		128	139	11	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲2,603	▲2,789	▲186		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		2,603	2,789	186	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲2,603	▲2,789	▲186		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲2,603	▲2,789	▲186		

備考 行政費用では、給与関係費を除くと補助費等が主なものであり、主な内訳としては、観光振興懇談会委員への報償費として114,288円かかっている。

問題点・課題 平成27年度に作成した「荒川区観光振興懇談会報告書」により、地域経済の・産業の活性化、住民の地域に対する誇りの高揚、来訪者との交流による地域活性化を図り、「人が集う魅力あるまちの形成」を目指すことを確認した。  
2020年に開催するオリンピック・パラリンピックに向け、来訪する外国人向けの観光振興を行い、おもてなしの体制を作る必要がある。また、地域活性化の観点から区内の事業者や地域団体との連携を強化し、相乗効果を狙う取組が求められている。

## 問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	今後の荒川区の観光施策に関する課題を洗い出し、解決策等についてアドバイスをいただく。	平成30年度以降に区が新たに実施を検討している観光施策について、委員の皆様へ提示し承認を得た。	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、区として取り組むべき観光施策についてアドバイス等をいただく。
②			
③			
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)		
議会議決(要旨)	平成29年度11月会議 荒川区観光協会の設立に向けて、区内各団体同士の協議の場を設定し、設立に向けて働きかけるべきと考えて欲しい。 平成26年度予特 2020年の東京オリンピックまでに、観光客誘客のための戦略を示して欲しい。		

# 事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	06-04-07		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	受入体制整備事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	石崎		
			担当者名	木村	内線	461		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-02-03	受入体制整備事業						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）			<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		17年度	根拠	荒川区外国人来訪者受入体制整備支援事業補助金交付要綱等			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input checked="" type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準			計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	観光案内所等を拠点とし、区の魅力を広く情報発信するとともに、来訪者の受入体制を整備するなど、おもてなしの向上を図ることで区の魅力を高め、誘客を促進する。							
対象者等	区民及び観光客、区内の宿泊施設及び飲食店							
内容	【観光案内所の運営】日暮里観光案内所における観光情報の発信 開設日：月・木・金・土・日・祝日 10時～16時 【観光案内標識設置事業】東京都観光案内標識設置補助金交付要綱に基づく補助事業 17年度 日暮里地区 4基設置 18年度 南千住地区 5基設置 19年度 都電川線沿線 5基設置 20年度 汐入地区 5基設置 22年度 三ノ輪停留場標識を都から移管 29年度 20基盤面改訂 【外国人来訪者受入体制整備事業】外国人受入環境整備に対する補助事業、外国人向けイベント実施 区内の宿泊施設、飲食店を営む事業者が外国語版のホームページ、パンフレット、メニュー表、看板等を新規に作成する場合の初期経費の一部（3分の2上限20万円）を補助（平成20年度～） 日本文化体験イベント、コッ通り盆踊り大会への外国人誘客 【観光ボランティアガイド】まちあるきをはじめとした観光案内の実施、まちあるきガイドの養成 ガイド登録者数：125名（延べ）※現在登録者数：58名（うち休会者10名）							
経過	【観光案内所整備運営事業】 平成28年度 日暮里観光案内所及び南千住観光おもてなしサロン開設（平成29年11月閉鎖） 【観光案内標識設置事業】 平成17年度 事業開始（04-03-08観光案内標識設置事業から組み替え） 【観光ボランティアガイド事業】 平成18年度 養成講座の開始、ガイド活動の開始（観光情報提供事業として） 平成22年度 観光情報提供事業より移管 【外国人来訪者受入体制整備事業】 平成20年度 事業開始 平成26年度 要綱を一部改正（対象事業を飲食店にも拡充する） 平成27年度 要綱を一部改正（宿泊施設・飲食店ともに対象事業を拡充する） 平成29年度 日本文化体験イベント開始（日本舞踊体験、商店街ツアー）							
必要性	多言語案内や標識等の整備を進めることで、外国人をはじめとした観光客に荒川区の観光における満足度を高め、リピーターとしての来訪増加が期待出来る。							
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）							
指	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	日暮里観光案内所等利用者数(人)		11,174	29,186	30,000	36,300	年度実績数 ※28年度開設
	②	外国語版HP等作成支援(件)	1	1	0	2	5	年度実績数
③	観光ボランティアガイドの活動(回)	18	22	17	25	35	来訪者からの依頼に基く活動数	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進	重点的に推進	観光案内所におけるきめ細かな観光案内をはじめ、観光案内標識の整備、観光ボランティアガイドの養成など、来訪者の受入環境の整備を積極的に推進する。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		1,753	1,054	3,182	1,891	22,674	14,558	6,009
決算額(30年度は見込み)		592	735	2,359	1,308	8,259	10,788	6,009
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	観光案内標識設置	—	—	—	—	—	—	—
	観光案内標識内容更新・修正	6	5	5	—	—	20	—
	外国語版HP作成支援	0	0	2	1	1	0	2
	ガイド活動	25	29	32	23	25	21	30
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	ガイド養成講座講師謝礼	1,406	報償費	観光案内所スタッフ謝礼	2,689	報償費	観光案内所スタッフ謝礼、ガイド養成講座講師謝礼等	4,356
需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	1,015	需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	194	需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	207
役務費	案内所通信費・ガイド保険料ほか	165	役務費	案内所通信費・ガイド保険料ほか	288	役務費	案内所通信費・ガイド保険料ほか	321
委託料	案内所ブース製作委託ほか	4,776	委託料	観光案内標識盤面修正委託ほか	7,090	委託料	観光案内標識清掃委託ほか	336
使用料等	案内所賃料	194	使用料等	案内所賃料	389	使用料等	案内所賃料	389
備品購入費	案内所整備用備品	503	償還金利息	サロン廃止に伴う補助金返還	137	負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	400
負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	200						

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
		給与関係費	13,024	11,100		▲1,924	地方税	0
物件費	4,987	7,939	2,952	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	358	0	▲358	都支出金	553	4,331	3,778	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	1,624	2,849	1,225	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	412	531	119	その他	1	0	▲1	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	554	4,331	3,777	
賞与・退職給与引当金繰入額	692	612	▲80	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲20,543	▲18,700	1,843	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	21,097	23,031	1,934	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲20,543	▲18,700	1,843	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲20,543	▲18,700	1,843	

備考 行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、主な内訳としては、観光案内標識地図データ及び壁面更新委託に6,598,800円かかっている。行政収入では、歩行者用観光案内標識設置支援補助等として4,331,000円収入があった。

- 問題点・課題
- 外国人観光客向けの日本文化体験イベントの充実を図り、より一層の賑わいを創出する必要がある。
  - Wi-Fiスポットの整備等旅行者の受入におけるハード面の整備の充実を図る必要がある。
  - 多言語でのガイドが可能なボランティアガイドの育成が必要である。
  - 外国人来訪者受入体制整備支援事業補助金のPRを積極的に行い、事業者支援に繋げ、外国人観光客の受入体制の整備充実を図る必要がある。
  - 日暮里観光案内所における観光客の区内誘導のための更なる情報発信が必要である。

## 問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	日暮里観光案内所を活用し、区内に観光客を呼び込むための工夫を行うことで、区内に賑わいを創出する。	観光客を区内に誘導するための方策の一つとして、日暮里観光案内所の開設日を増やした。	日暮里観光案内所を訪れる外国人をはじめとした観光客を区内へ誘導するため、より一層きめ細かなサービスを提供する。
②	南千住観光おもてなしサロンへの集客を図るため、周辺宿泊施設と連携し、外国人観光客に対するサービス内容の充実を図る。	南千住観光おもてなしサロンへの集客は困難と判断し、11月末で閉鎖した。外国人観光客向けに日本文化体験ツアーを開始した。	荒川区を訪れる外国人観光客向けに日本文化体験を定期的実施し、観光客へのサービスの充実を図る。
③	ボランティアガイドによる案内の充実を図るため、周辺区と合同でまちあるきを実施できるよう、調整を行う。	北区観光ボランティアガイドの会と交流会を開催し、平成30年度に合同まちあるきを実施する方向で検討を行った。	北区観光ボランティアガイドの会と、合同でまちあるきを開催する。

他区の実況	(実施 15 区 未実施 0 区 不明 7 区)
観光案内標識…台東区、豊島区、中央区、葛飾区、千代田区、足立区他	

議決(要旨) 平成20年3定 外国人観光客誘致に向け、観光案内所を日暮里駅周辺へ設置すべき。  
平成28年度決特 区内の日本語学校生徒の通訳ボランティアとしての活用について  
平成28年度決特 日暮里活性化施設を活用した区内への誘客について